

浅間学園の沿革

昭和29年 5月 ● 育護会浅間学園として発足 定員 30名
園長 佐藤雄三郎

昭和37年 4月 ● 社会福祉法人育護会認可 理事長 佐藤雄三郎
5月 ● 定員 56名変更

昭和38年 4月 ● 天皇陛下より事業御奨励の思召をもって
御下賜金を下賜される

昭和39年 8月 ● 三笠宮殿下御来園

昭和42年 4月 ● 天皇陛下より事業御奨励の思召をもって
御下賜金を下賜される

昭和46年 4月 ● 定員 80名に変更

昭和54年 4月 ● 浅間学園成人寮新設定員 50名、
なかよし寮新設定員 30名に変更

昭和59年 5月 ● 保護者会より園歌碑の寄贈をうける
(浅間学園、浅間育豊園)

昭和60年 3月 ● 浅間学園なかよし寮閉鎖
4月 ● 浅間学園成人寮を浅間学園に名称変更、
定員 60名に変更 園長 佐藤富美

昭和61年11月 ● 理事長 佐藤雄三郎 叙勲従六位 勲五等瑞宝章
● 育護会設立理事長 佐藤雄三郎 死去、
後任理事長 佐藤正光 就任

昭和62年 4月 ● 天皇陛下より事業御奨励の思召をもって
御下賜金を下賜される

昭和63年11月 ● 創設者故佐藤雄三郎氏胸像建立除幕式、
須坂の施設にレリーフ建立

平成 3年 3月 ● 理事長 佐藤正光 退任、
同年 4月 理事長 佐藤宣宣 就任

平成 9年 3月 ● 浅間学園々長 佐藤富美 退任、
同年 4月 佐藤利夫 就任

平成15年 4月 ● 評議員会 (定員 21名) 設置

平成20年 3月 ● 浅間学園々長 佐藤利夫 退任、
同年 4月 土屋達夫 就任

平成22年 4月 ● 障害者支援施設として認可 施設長 土屋達夫
● 共同生活介護 浅間学園からまつとして認可
管理者 土屋達夫

平成23年 3月 ● 浅間学園 竣工

浅間学園建設のあらまし

○敷地面積 / 3,598.53㎡
○建築面積 / 1,923.88㎡
○構造 / 鉄骨造 一部二階建
○着工 / 平成 22年 5月 10日
○竣工 / 平成 23年 3月 31日
○総事業費 / 560,000,000円
○設計管理 / 株式会社エーシー工設計
○工事施工 / 北野建設株式会社

《財源内訳》
国・県補助 282,300,000円
軽井沢町助成金 30,000,000円
自己資金 247,700,000円

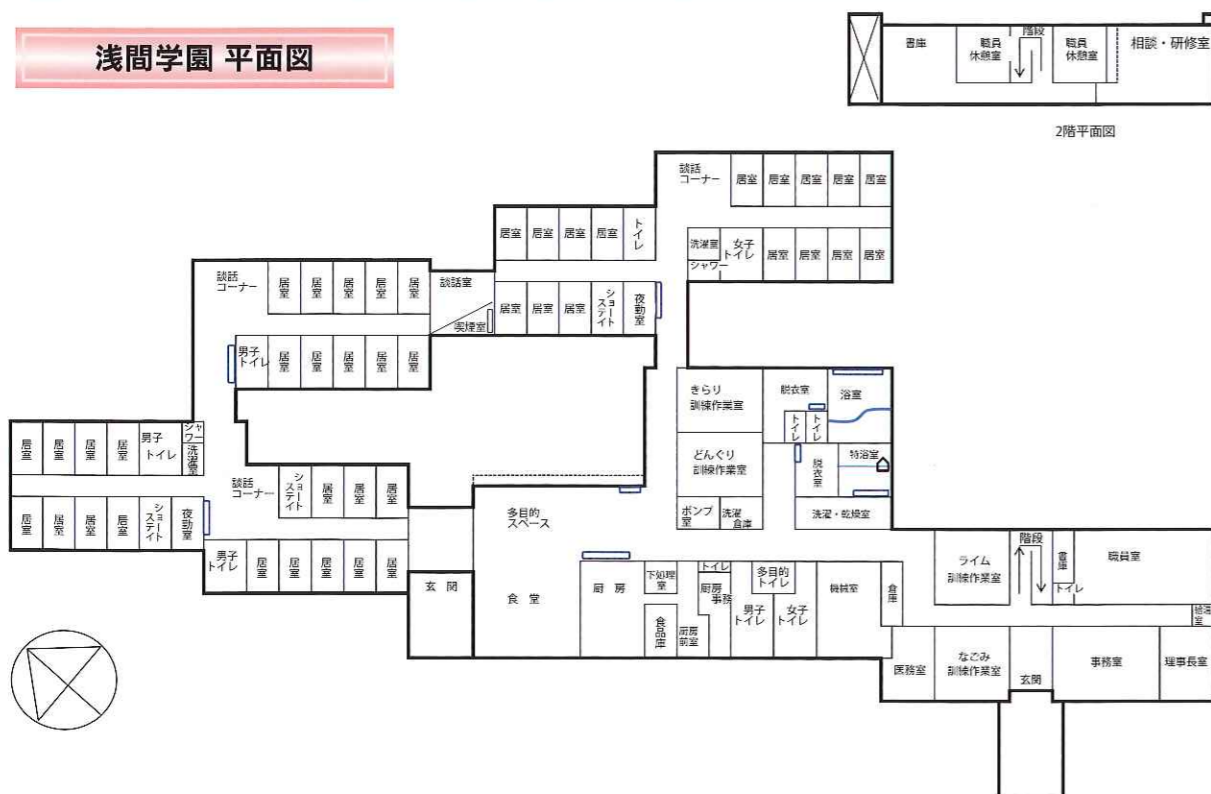
浅間学園の事業内容

- 施設入所 / 定員 40名
- 生活介護 / 定員 60名
- 短期入所 / 定員 5名
- 共同生活援助 / グループホーム 5か所 25名

ご案内



浅間学園 平面図



指定障害者支援施設
浅間学園
共同生活援助
浅間学園からまつ



社会福祉法人 育護会

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉3725
TEL.(0267)45-5379 FAX.(0267)45-0760

人は皆 自分の人生の 主人公

私たち浅間学園が目指す支援

浅間学園では一人一人の利用者の皆さんの意思を大切に、個性を尊重し、本人の心に寄り添い利用者本位《PERSON CENTERD PLANNING》の支援を目指しています。
これまで私たちは利用者の為と思い「何かができるようになる」ことへのお手伝いをしてきました。しかしそこには本人の意思はなかったことに気づきました。
そして私たちは支援の在り方を徹底的に議論し、「心に寄り添う支援」にたどり着きました。



ゆったり楽しい食事を…
明るく広々とした食堂

正面玄関

私たちが目指す大切な七つの支援の柱

あるがままに

私たちはあなたをあるがままに受け止めます。あなたはあなたのまま生きて下さい。

すべて納得

私たちはあなたに解るように、どんな小さな事もきちんと説明してあなたに納得していただきます。

夢のお手伝い

あなたにも大切な夢があると思います。私たちの一番大切なお手伝いは、あなたの夢のお手伝いをすることです。

生きづらさを生き強さに

あなたの生きづらさをしっかり受け止め、一緒に生きづらさを生きやすさになるようにお手伝いをします。

あなたが選ぶ

私たちはあなたが楽しいと思えることをたくさん用意します。その中から一番楽しいことをあなたが選んでください。

心地よいお手伝い

誰にも邪魔されずに過ごしたい時があなたにもあると思います。私たちはそんな時、あなたの時間を大切にします。

ひとり一人

私たちはあなたをひとりの人として、尊厳と尊敬を持って支援します。あなたと相談しながら、一番してほしいお手伝いをします。



視界が開けるくつろぎスペース 談話コーナー



生活の拠点 居室はすべて個室



《浴室》普通浴室と介護浴室があります



《作業室》日中活動の拠点になります

